

っしゃいました。本日はよろしくお願ひします」。平岡幹事→「岡村会員ご入会おめでとうござひます。本日より宜しくお願ひします」。安藤亭会員→「先週の市内清掃活動への協力ありがとうござひました」。以下、感謝をこめてニコニコへ。阿久澤会員、安藤美恵子会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、伊藤会員、鴨志田会員、菊池会員、小島会員、鴻上会員、小塚会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、大西会員、大矢会員、岡村会員、親松会員、佐々岡会員、嶋会員、白井会員、鈴木孝英会員、鈴木清会員、高山会員、渡邊会員、山口篤会員、山崎会員、屋敷会員、結城会員、鈴木文夫会員。

お忙しい毎日ですがご自分の畑できゅうりなど野菜を作って癒されているとのこと。

<ガバナー公式訪問卓話>

第2590地区ガバナー 吉田隆雄様



神奈川東ロータリークラブの吉田と申します。この例会が始まる前に会長幹事さんにこのクラブのことをお聞きしまして、素晴らしい立派なクラブだということをお聞きしております。今年度は地区の方で親松会員にローターアクト委員として協力して頂いてます。あと10か月ありますのでよろしくお願ひします。ガバナーの役割の一つは皆さんにRI会長のテーマ、方針と私の地区テーマを説明することです。本日は限られた時間ではありますがそのお話をしたいと思ひます。

以下、スライドを見ながらお話を伺ひました。

写真の方は今年度RI会長のホルガー・クナークさんでドイツの方です。現在67歳です。本年度のRI会長のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。また3つのドアの絵は一番左が、ローターアクトの色でグランベリーカラー、真ん中がロータリーゴールド、一番右がロータリーブルーです。これが今年度のテーマに基づくデザインです。今年の1月にアメリカのサンディエゴで開催された国際協議会に参加し1週間研修を受けて参りました。その時RI会長に30分間テーマについて話して頂きました。その要点についてこれから話したいと思ひます。

まずは退会防止について、次に新会員の募集についてです。私どもの第2590地区は55クラブあります。それぞれのクラブは個性や特性、会員数が違ひます。RI会長が仰るにはそれぞれのクラブの特性、個性に合った会員を募って欲しいとのこと。また会員は慎重に選考してほしいとも仰ってました。「世界でロータリーの認識が高まっているこの機会に行動を起こす」とのこと、この機会とはポリオの根絶のことです。ロータリアンはポリオの根絶を寄付などを通じて行っていますが、一般の方には認知度が高くありません。もっと一般の方々に広報してほしいということをお願ひしました。現在ロータリークラブだけでなく、ライオンズクラブなどでも会員数の課題があります。ロータリークラブは時代に合せて変わらねばなりま

<出席委員会>

小塚委員長

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第2009回	46	36	10		78.26%
第2008回	46	31	15	3	73.91%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	37件	52,000円	359件	398,000円
財団	0件	0円	7件	125,000円
ベネファクター	1件	105,000円	1件	105,000円
米山	0件	0円	14件	190,000円

<ロータリー財団委員会>

渡邊委員長

赤本会長→「吉田ガバナーご来訪を記念して寄付いたしました」。

本日のプログラム

第2590地区第3グループガバナー補佐 三富末雄様よりガバナーのご紹介



吉田ガバナーは1948年生まれの72歳です。ロータリー入会は1986年12月に神奈川東RCに入会されました。ロータリー歴は33年です。神奈川東RCは創立45周年を迎えまして初めてのガバナーです。性格は温厚で、モットーは自分を磨き元気で個性のある楽しいロータリーを目指すということです。地区国際奉仕副委員長、第4グループガバナー補佐、資金推進副委員長も務めました。横浜地方裁判所、横浜家庭裁判所で長年調停委員をされ藍綬褒章を受章されています。

せん。例として「コダック」をあげ、デジタル移行に対処しなかったため事業縮小せざるを得なくなったお話をされていました。時代に合わせ対処しないと様々な問題が起きます。ロータリークラブも時代に合わせて変わっていかねばならないことを強調していました。ホルガー・クナークさんは「中核的価値観」という言葉をよく使います。中核的価値観とは親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップです。この言葉でロータリークラブの活動は全て説明できると私も思っております。

ホルガー・クナークさんの所属するドイツのロータリークラブでは、一生涯の友人を得る場であることがロータリークラブの魅力の一つであると言っています。また、ロータリークラブは人脈作りの機会にもなっています。これがクラブの強さにつながります。そして奉仕の力は強いクラブから生まれます。ロータリーは変わらねばなりません。新しいクラブのモデルとして衛星クラブ、Eクラブなどありますが、もっと考えてやってもらいたいというお話をされていました。ロータリークラブは奉仕活動を通じて環境問題に取り組んでおります。ここにもっと焦点を当ててほしいです。財団のグローバル補助金の重点目標が6つあります。次年度から環境保全が6つの重点分野の一つに加わるようになっていきます。RIはこれから環境問題に力を入れていくようです。若い世代にとって環境問題は関心があることであり、ロータリーが環境問題に取り組めば若い人たちもロータリークラブに関心を持つきっかけになり会員増強にもつながります。

それぞれのクラブは3、5、10年後どのようなクラブになりたいか考えてほしいとのこと。川崎百合丘RCも戦略計画を考えてほしいです。

RI会長の重要メッセージにある、地区活動目標は次の4つになります。

1. 新しい革新的なクラブモデルを作ることに積極的に取り組んで下さい。衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることができます。ローターアクトクラブについては大きく変わっており、今までは提唱クラブがありその下でローターアクトクラブは活動していましたが、今後は提唱クラブなしで設立することが可能となり年齢の上限がなくなります。
2. 各クラブは、1回以上の戦略計画会議を開き、5年後にはどのようなクラブになっているか、ビジョンを達成するために、どのようなステップを踏むべきかなどを、会員に問いかけて下さい。
3. 新会員を慎重に選び、新会員にとってクラブがびったりと合うこと、新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒をみて、積極的な参加を促して下さい。
4. ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオ

デーに合わせた行事・イベントを開催してください。

RI会長のメッセージをまとめると

- ・ロータリアンの成長
 - ・奉仕の実践
 - ・ロータリアンの喚起
 - ・ロータリアンの人生を豊かに
 - ・人々の人生を豊かに
- の5つです。

RI会長のテーマを振り返るとこの4年間で以下のようになっています。

ロータリー：変化をもたらす(変化)



インスピレーションになろう(感化)



ロータリーは世界をつなぐ(つながり)



ロータリーは機会の扉を開く(再出発)

本年度はこのような環境の年度でもありますし、ロータリーも再出発の年度になるのかと思います。

2020-21年度にRIの会長をつとめたガイ・ガンディカーさんの考え方についてお話ししたいと思います。

ロータリーの特徴は

- ・ロータリアンの人間性の向上
- ・ロータリアンの事業の向上
- ・ロータリアンの職種・業界全体の向上
- ・ロータリアンの家庭、町、州、国ならびに社会全体の向上
- ・ロータリークラブの例会は、上記の向上のための「親睦と学びの場」
- ・ロータリーの「親睦」の目的は、ロータリーの成長・発展

ロータリーの究極の目的は、「素晴らしい真のロータリアン」の育成です。ロータリーは①ロータリアン同志の親睦を基盤に、②立派なロータリアンを育てながら、③価値ある奉仕を通じて、社会に貢献する世界的な団体である。これらの内容をわかりやすく図にしたものがパストガバナーの鈴木さんが描いた「ロータリアンの木」です。「クラブ会員との親睦」「他クラブ会員との出会い・親睦」が養分となり立派なロータリアンの木として育ちます。その上に国際奉仕、職業奉仕、社会奉仕があるということです。

RI会長のテーマ、ガイ・ガンディカーさんのお話、これまでのロータリーでの経験をもとに、今年度の第2590地区2020-21年度ガバナーテーマを「ためになる魅力あるロータリー～自分を磨き、品格(高潔性)とクラブの魅力を高めよう～」にしました。ロータリーの魅力の1つは親睦で、もう一つは職業奉仕です。この二つで切磋琢磨して私たちは品格を高めることが大切です。米山梅吉さんは「ロータリーの例会は人生の道場である」と仰っています。物の考え方、立ち居振る

舞い、言葉遣い、生きる姿勢、あふれる情熱、持てる能力、知識の深さ、生きた情報。これらはみんな違います。例会で切磋琢磨して自分の高潔性を高めましょう。これが一番大切なことだと考えています。その上で職業奉仕があります。職業を通じてサービスを行う、これがロータリーの根幹であると考えます。

例会以外にも色々な会があります。今年度は職業交流会、フレッシュ交流会を開催する予定です。また現在第2590地区の約2,000人の会員のうち9.5%が女性会員です。女性会員の交流の場を設けようと地区のクラブ奉仕委員会が色々と検討しています。これらはより良いコミュニケーションを目指すためです。ロータリークラブは多様な能力、多様な性格の集まる人材の森です。考え方や価値観なども様々です。多様性はロータリーの中核的価値観の一つです。自分と正反対の意見でも、耳を傾け聞こうとする意志が大切と考えます。もしそれが良い意見なら、自説を捨てても受け入れようとする柔軟性(寛容な心)を養います。自分のため、世のため、社会のためになる奉仕を実践し、新会員に「感動」を与えることが重要だと考えます。

また会員基盤の強化については、会員増強は結果であると考えます。ホルガー・クナークさんは数字目標は掲げないと仰っています。クラブの魅力が高まって自然に会員が増えることが理想です。

寄付についてですが、ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付については昨年と同じ額を目標としています。よろしくお願いします。グローバル補助金の奨学生達は優秀な生徒が多く、卒業すると世界的な機関などに就職することも多いです。どのような職種に就いたかを皆さんに開示したいと思います。米山奨学生も立派な学生が多く、インターアクトと米山奨

学生の接点を多くしていきたいということもガバナー補佐にお願いしています。

ロータリーの公共イメージについては、前年と同じくロータリーのイメージが崩れないような広報をしていこうと考えております。ロータリーの友については、4年ほど前からA4版に改定され内容も読みやすくなっています。

IMは来年の2月14日、高津市民ホールで開催予定です。是非皆さんのご出席をお願いします。

マイロータリーは第2590地区は登録率が低いです。まだ登録されていない方は是非よろしくお願ひします。ガバナー月信の8月号の後ろに登録方法が記載されています。

ロータリー賞は昨年と同じように挑戦の機会がありましたら是非チャレンジしてください。

これもちまして私の話を終わります。今年度は厳しい環境下にあります。RIからも通常の例会も健康、安全に留意して開催してほしいということを言われています。ロータリークラブの例会は切磋琢磨する場として重要と考えます。できれば通常通り開催できればと思っています。川崎百合丘RCはとても充実したクラブですので益々発展して頂きたいです。

① いかにしてロータリーを成長させることができるか

- ・現会員の維持
- ・ふさわしい新会員を募る
- ・組織を強くする
- ・世界でロータリーの認識が高まっているこの機会に行動を起こす

<点鐘>

赤本会長

